

2007年度関西学生バスケットボールリーグ戦

RESULTS OF TODAY'S GAME

発行日 平成19年 9月16日

本日結果・戦評 第3日

対戦日 2007. 9.15

関西学生バスケットボール連盟

〒550-014 大阪市北区西天満5丁目6-10 富田町パークビル3F

<http://college.jabba-net.com/kansai/men/>

E_mail kibbf@yahoo.co.jp

担当：高見勇志

男子リーグ戦	試合No	113	会場	京都府立体育館	コート	A	試合時間	14:20
近畿大学	82	28 - 20 22 - 21 16 - 20 16 - 17 —	78	関西大学				
戦評							主審 副審	
<p>1 Q、互いにマンツーマンでスタート。近畿大は# 9 水戸のカットイン、関西大は# 1 0 阪下を中心に得点を重ねていく。関西大がリズムを掴めず近畿大に8点のリードを許して終了。2 Q、関西大はゾーンディフェンスでリズムを立て直しにかかるも、# 7 0 高野らが奮闘し、差を詰めるに至らない。3 Q、近畿大がオールコートマンツーマンで仕掛けるが、関西大# 7 高橋、# 1 2 香川の3 Pで応戦し、点差を詰めることに成功。5点差で4 Qを迎える。関西大の# 1 3 竹内がリバウンドシュートを決めるが、その後は互いに譲らず一進一退の攻防を見せる。残り43秒、# 1 3 竹内のゴールで同点に追いつくが、近畿大# 4 4 間、# 9 水戸が確実にフリースローを沈め、そのまま逃げ切った。</p>								

男子リーグ戦	試合No	114	会場	京都府立体育館	コート	B	試合時間	14:20
立命館大学	78	23 - 21 17 - 8 25 - 19 13 - 20 —	68	甲南大学				
戦評							主審 副審	
<p>1 Q開始から立命館はインサイド、アウトサイドから幅広く加点。対する甲南大もアウトサイドのシュートが決まり、序盤から点の取り合いに。2 Q、甲南大はオフェンスのミスにより自らリズムを崩してしまう。一方の立命館は相手のミスから確実に得点を重ね、リードを拡げる。3 Qに入っても流れはそのまま立命館の猛攻が続く。甲南大は個人技で応戦するが# 1 0 中村のファウルトラブルなどで流れを掴みきれず、立命館にリードを拡げられ4 Qへ。何とか差を詰めた甲南大は激しいディフェンスでミスを誘い、瞬く間に点差を詰めていく。最後まで果敢に攻めた甲南大だったが、3 Qまでの点差が大きく響くこととなった。最終的に78 - 68で立命館が勝利した。</p>								

2007年度関西学生バスケットボールリーグ戦

RESULTS OF TODAY'S GAME

発行日 平成19年 9月16日

本日結果・戦評 第3日

対戦日 2007. 9.15

関西学生バスケットボール連盟

〒550-014 大阪市北区西天満5丁目6-10 富田町パークビル3F

<http://college.jabba-net.com/kansai/men/>

E_mail kibbf@yahoo.co.jp

担当：高見勇志

男子リーグ戦	試合No	115	会場	京都府立体育館	コート	A	試合時間	14:40
大阪商業大学	90	28 - 25 16 - 20 16 - 18 30 - 14	77	神戸大学				
戦評							主審 副審	
<p>立ち上がり神戸大は#16 蘆田の3Pやインサイドで先行。しかし、大商大も#13 橋本のインサイド、#16 三好の速攻などで対抗し、大商大リードで1Q終了。2Q大商大は高い位置からディフェンスを仕掛け、神戸大のミスを誘発。#11 中井の得点でリード。一方の神戸大も#7 岩本のシュートや#5 大西3Pなどで逆転に成功し前半終了。3Q、大商大#11 中井がリバウンドなどで奮闘するが、神戸大#15 堀江のドライブインや#13 蔵田のシュートで点差を広げる。しかし、残り5秒#6 植西のスティールからの速攻で3点差となり最終Qへ。4Qに入ると大商大は#6 植西の3P、#23 信木のゴール下などで逆転。神戸大も#15 堀江の連続3Pや#18 中西のジャンプシュートで対抗するが、最後までディフェンスを粘り続けた大商大が勝利を収めた。</p>								

男子リーグ戦	試合No	116	会場	京都府立体育館	コート	B	試合時間	14:40
大阪産業大学	82	20 - 16 26 - 5 16 - 15 20 - 20	56	大阪体育大学				
戦評							主審 副審	
<p>両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。1Q、大産大が連続3Pでペースを掴み20 - 16でリードして終える。2Q、大体大は#6 塚本を残してメンバーチェンジを行うが流れを掴むことは出来ない。10点差に開いたところでたまたまタイムアウト。しかし、大産大にリバウンドを確実に取られ、点差を縮めることが出来ない。46 - 21と大産大に大量リードを許したまま前半を終える。3Qに入っても流れは終始大産大に傾いたままゲームは進行。大産大のディフェンスを前になかなか点数を縮めることができず、26点差で4Qへ。4Q、点差を詰めようと必死のオフェンスを見せる大体大ではあるが、大産大はなおもそれを許さない。大産大が堅実なリバウンドで終始自分たちのペースを守り続け、大体大に大差で勝利した。</p>								

2007年度関西学生バスケットボールリーグ戦

RESULTS OF TODAY'S GAME

発行日 平成19年 9月16日

本日結果・戦評 第3日

対戦日 2007. 9.15

関西学生バスケットボール連盟

〒550-014 大阪市北区西天満5丁目6-10 富田町パークビル3F

<http://college.jabba-net.com/kansai/men/>

E_mail kibbf@yahoo.co.jp

担当：高見勇志

男子リーグ戦	試合No 117	会場 京都府立体育館	コート A	試合時間 17:40
関西学院大学	84	18 - 22 23 - 9 28 - 18 15 - 19	68	京都産業大学
戦評				主審 副審
<p>試合開始から両チームマンツーマンディフェンスを見せる。1Q序盤は京産大がバランス良く得点し、リードを拡げるが、終盤になると関学大は#73松本のシュートが決まりだし、#3稲垣が3Pのブザービターを沈め4点差に迫る。2Q、関学大が1Q終盤の勢いそのまま逆転に成功。#73松本が要所で3Pを決めてリードを拡げる。一方の京産大はシュートがことごとくリングに嫌われ、2Qを僅か9得点で終わる。3Q、京産大は#4立石を中心に巻き返しをはかるが、関学大の勢いは止まらない。関学大は#4劉、#73松本らの活躍で関学大が点差を20に拡げる。4Qに入ると、京産大は3Pが単発で決まるものの、関学大の勢いを止めるに至らず、16点差で圧勝。リーグ戦開幕3連勝とした。</p>				

男子リーグ戦	試合No 118	会場 京都府立体育館	コート B	試合時間 15:40
天理大学	85	24 - 22 20 - 15 14 - 23 27 - 13	73	大阪学院大学
戦評				主審 副審
<p>1Q、互いにシュートを決めあうが天理大がリードを奪う。しかし学院大もディフェンスで相手のミスを生かして、点差を詰める。そのまま試合が進み24 - 22と天理大がリードして終了。2Qに入ると天理大が点差を拡げ流れを掴む。学院大は終了間際に速攻から流れを引き寄せすが、追いつくことは出来ず後半へ。3Q、天理大のミスから学院大が流れを掴み一気に逆転。その後は互いに点の取り合いになり、60 - 58と学院大リードで3Q終了。4Q、天理大はインサイドを中心に攻撃を展開し逆転。対する学院大は天理大のオフェンスを抑えることが出来ず流れは天理大に。学院大は終盤プレッシャーディフェンスを仕掛けるが、追いつくまでには至らず、85 - 73で天理大が勝利した。</p>				